

篠山市のホームページでもいろいろなまちの話題をお届けしています。ぜひ、ご覧ください。(市のホームページ [TOWN TOPICS](#) をクリック)

TOWN TOPICS
まちの話題



園児たちが手紙を配達 第74回「郵政記念日」記念行事

第74回「郵政記念日」記念行事が4月23日、篠山郵便局で行われました。この記念行事では、篠山幼稚園の園児21人が市役所を訪れ、酒井市長に手紙を配達。自分たちが書いた手紙を一人ずつ酒井市長に手渡しました。また、篠山市キャンペーンレディーが1日郵便局長に委嘱され、来局された皆さんをおもてなし。先着100人に記念品をプレゼントしました。ほかにも、篠山幼稚園絵画展が行われ、来局された皆さんは、園児たちが描いたチューリップの絵画をにこやかに鑑賞していました。



花いっぱいの春まつり 第28回「にしきシャクナゲまつり」

4月21日・22日の2日間、「にしきシャクナゲまつり」(にしきシャクナゲまつり実行委員会主催)がシャクナゲ公園(下板井)で行われました。丹精込めて育てられた白や淡いピンクに咲いたシャクナゲがとても華やかで、親子連れ(写真)など参加者の目を存分に楽しませました。また、篠山市キャンペーンレディーも、園内の案内やシャクナゲの苗を参加者に配るなど、春まつりを明るく盛り上げました。



真剣勝負! 白熱した試合を展開 第25回「篠山城武道大会」

「篠山城武道大会」が4月15日、篠山中学校と篠山東中学校を会場に、剣道、少林寺拳法、柔道、空手道の4種目が行われました。幼児から大人まで約380人は、観衆からの声援がわき起こる中、日ごろの鍛錬の成果を存分に発揮しようと気迫にあふれ、白熱した試合を展開。また、試合前の選手に対して、コーチの激励の喝がとても印象的でした。



味わい深く、まずまずの出来 味間奥で一番茶の摘み取り

新緑の季節を迎えた5月10日、味間奥にある田中秀樹さんの茶畑で一番茶の摘み取り作業が始まりました。今年は、春先の寒さの影響で、例年に比べて生育が遅れがちでした。しかし、じわじわと大きくなった分、味も香りもよいはずと期待されています。また、摘み取られている一番茶(写真)は、「やぶきた」という品種で、今月末まで摘み取り作業は続きます。なお、6月2日・3日に行われる「大国寺と丹波茶まつり」にも出品されますので、味わい深い「丹波茶」をぜひ、ご賞味ください。

丹波焼きの魅力満喫

第1回「やきものの里 春ものがたり」

今田地区の魅力を発信するイベントとして4月28日から5月6日までの間、第1回「やきものの里 春ものがたり」(やきものの里プロデュース倶楽部主催)が同地区で行われました。立杭陶の郷では、丹波焼の若手作家たちでつくる「グループ窯」の創立30周年記念展(写真)などが開催。また、兵庫陶芸美術館では、里山を巡る「今田若葉ウオーキング」や、作家グループ「めんめの会」の作品展などが行われたほか、各窯元では電動ロクロ体験などで、にぎわいました。来場者らは、新緑の中での散策を楽しみながら、丹波焼の魅力満喫していました。



心肺蘇生法で人命救助 「消防本部からご夫婦に感謝状」

救命活動に協力された小林秀人さん・君美代さん夫妻(河原町)に5月2日、消防長から感謝状とクリスタルの盾が贈られました。今年2月に市内で行われた卓球大会で、突然1人の男性が心拍停止状態となりました。その男性に対して、小林さん夫妻は人工呼吸や心臓マッサージなどの心肺蘇生法を実践。救急隊員が到着するまでの、この適切な処置により、現在、男性は元気に生活されています。秀人さんは昨年、市民救命士講習を受講されていました。